

三郷市の財務分析レッスンナー

東京都杉並区は10年後に10%、20年後に15%の住民税を減税し、58年後には市民税が半分、78年後には市民税がゼロ円という夢のような施策を発表しています。こんなことがどうして可能なのでしょうか。三郷市では可能なのでしょうか。

・・・三郷市民の税金をゼロ円にできるのか??・・・

はじめに、杉並区のやり方を説明しますと以下になります。

少数精鋭による簡素な効率的な区政運営をめざして行財政改革を実施



収入の全てを使わず、借金を減らしたり、毎年できるだけ貯金していく



貯金を国債などで運用して収益をあげる



運用収益を財源にして減税していく



次に、三郷市と杉並区の直近の財政状況を簡単な比較をしてみました。

	<三郷市>	<杉並区>
人口	13万人	55万人
市の基金(貯金)の残高	11億円	503億円(10年前は163億円)
市民1人あたりの基金残高	8千円	9万円
市の地方債(借金)の残高	391億円	246億円(10年前は900億円)
市民1人当たりの地方債	31万円	5万円
一般会計予算規模	320億円	1427億円
市民1人あたり予算	25万円	28万円
人口1千人あたりの職員数	7人	7人

右上ページにつづく

両者を比較すると、

杉並区とは貯金の額も借金の額も桁が違う、都市基盤も三郷市は十分整備されていないではないか・・・したがって、マネをすることは全く無理と思うかもしれませんね。

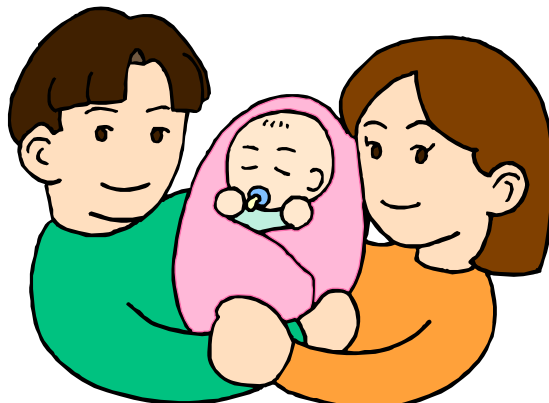
しかし、三郷市も自信をもってよいところもあります。

上記比較表によると

- 人口1千人あたりの職員数は杉並区と同じレベルまで縮小しています
- 市民1あたりの予算も杉並区より、すこし少ない程度です。

またこの他に、次のような良いところもあります。

- 三郷市の一般会計の市債(借金)は平成21年度の391億円をピークに減少していくと見込まれています。
- 三郷市は、固定資産税を中心にまだまだ増収アップの方策が見込める。私の試算だとまだ20億円程度の収入増加の可能性があるといます。



< 残念ながら・・・しかし >

残念ながら、三郷市の個人所得税をゼロ円にすることは、100年たっても無理だと思います。三郷市の個人市民所得税75億円を基金の運用でまかなうとした場合、金利2%としても3700億円の基金(貯金)が必要です。とてつもない金額でさすがにそこまで、貯めるのはできないでしょう。

ですが、三郷市は将来的には5~10億円を毎年貯金する財政力はあります。それによって、減税の方法を模索したらよいでしょう。

ここで大事なことは、減税による市民還元・減税によって企業や人の三郷市に誘致するという目的のほかに、今あるお金を全部使うのではなくて三郷の子供たちやこれから三郷に生まれてくる子供たちのために少しでも貯金しておこうという思想だと思います。